

PEACE CREATORS

平和は一人の心の変革から始まる

創価学会女性平和委員会は、“一人一人が平和創造の主体者(ピースクリエーター)”との思いで、以下3つのモットーを掲げ、身近なところから草の根の平和運動を推進しています。

1. 女性の平和意識を啓発
2. 生命尊厳の思想を次代へ継承
3. 「平和の文化」のネットワークを拡大



女性平和委員会
Webサイト

「平和の文化」を築くために

創価学会女性平和委員会

「平和の文化」を構築

国連が提唱する「平和の文化」の構築を目指して活動を展開しています。

「平和の文化」を築くために

「平和の文化」とは、私たち一人一人が日常の中で、“平和と非暴力”を自分の生き方にしていくことです。真の平和を築くには、政治や社会の仕組みだけでなく、人間自身の価値観や行動、つまり“文化”を平和の方向へ転換していくしかない—この視点から、1999年9月13日、「平和の文化」に関する宣言と行動計画が国連総会で採択されました。



詳細はこちら ▶

戦争・暴力の文化

生命・人権の軽視
敵視・排斥
情報の統制
権力による支配
男女差別
環境破壊・不平等な開発
暴力・虐待
孤立・分断
武力紛争

平和の文化

生命・人権の尊重
寛容・多様性の尊重
情報の自由
民主的参加
男女の平等
公正で持続可能な開発
非暴力・対話
連帯・協力
平和・安全

出典：「ユネスコの平和の文化プログラム：序論」より

各界専門家との連帯・交流



「平和の文化」に関する“宣言”と“行動計画”の採択に尽力された、アンワルル・K・チョウドリ元国連事務次長と懇談。(2022年10月) 詳細はこちら ▶

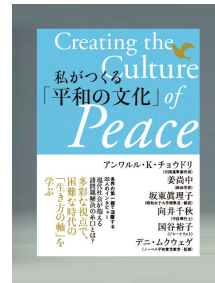


「平和の文化フォーラム」の開催



2003年より「平和の文化フォーラム」を開催し、地域・家庭・職場から「平和の文化」を構築する女性たちの体験を共有。全国500会場で1800人以上が発表。

「平和の文化」を発信・出版



▲詳細はこちら

「平和の文化」に貢献する国内外の専門家へのインタビューを聖教新聞に連載(2019-21年)。単行本『私がつくる「平和の文化」』として発刊。

子どもの権利を守る

子どもの幸福のため、「子どもの権利条約」の精神が広く浸透することを願って、活動を推進しています。

クイズで考える「子どもの権利条約」

2020-21年は18歳以上の大人を対象に、2022年は中高生世代を対象に、クイズを通して「子どもの権利条約」について学び深めるオンラインアンケートを実施。「広げよう!子どもの権利条約キャンペーン」にも参加。



▲詳細はこちら

「平和の文化と子ども展」

「世界の子どものための平和の文化と非暴力の国際10年」(2001-10年)の意義を踏まえ、本展を企画・制作。2006年から10年間、全国200会場で開催。約120万人が鑑賞。



「子どもの権利条約」に関するNGOレポート

国連子どもの権利委員会に提出する「子どもの権利条約」に関するNGOレポートの作成に参加。(1996, 2002, 2006, 2017年)



詳細はこちら ▶

「未来をひらくSDGsフォーラム」



全国各地でSDGs 推進に取り組む人々と体験を共有し、啓発しあうフォーラムを開催。



詳細はこちら ▶

「マイ・チャレンジ10」

気候変動問題への意識啓発を促すウェブサイト。地球温暖化がもたらす影響をクイズ形式で紹介するほか、「いますぐできるエコアクション」を提案。



▲詳細はこちら

女性のエンパワーメント

女性のエンパワーメントを推進するため、専門家による講演会や女性の意識調査など、多岐にわたる活動を推進。



不戦・核兵器廃絶

仏法の“生命尊厳”の思想を根本に、核兵器廃絶、世界平和の実現を目指す活動を推進しています。

戦争・被爆体験の継承記録運動

1981-1990

471人の戦争体験を取材し、反戦出版20巻、ジュニア版6巻を発売
(青年部編と合わせて100巻)



2005

戦争体験を映像として残す運動を全国展開。代表31名の映像をDVD化



詳細はこちら▶



2009

女性8名の被爆体験を英語・西語・仏語・中国語・日本語の5言語でDVD化



詳細はこちら▶



2016

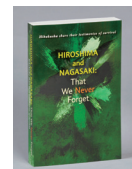
広島女性平和委員会が日英対訳の被爆証言集を発売



▲詳細はこちら

2017

IPPNWの協力を得て英語版の被爆体験集を発売



▲詳細はこちら

被爆体験を聞く会

毎年、被爆者から体験を聞く会を開催。ビデオ映写会も草の根単位で全国展開。



▲詳細はこちら

ヒバクシャ国際署名

被爆者が始めた核兵器廃絶国際署名の連絡会に参加、青年部と女性平和委員会で40万筆を達成。
(2021年1月に国連へ提出)



▲詳細はこちら

「核兵器禁止条約」を推進

同条約の採択(2017)、発効(2021)、普及に尽力。2022年第1回締約国会議では「ユース声明」の起草にも参加。



▲詳細はこちら

創価学会の平和運動の原点



核兵器の廃絶は、創価学会の社会的使命です。その原点は1957年9月8日、戸田城聖第2代会長が、核兵器を人類の生存の権利を脅かす“絶対悪”と断じた「原水爆禁止宣言」にあります。池田大作第3代会長はその思想を継承し、核兵器廃絶・平和創出への行動を世界的に展開してきました。

詳細はこちら ▶

